コロナ禍のお月見

身する狼男や夢遊病者のように、

月は人を狂わせるもので

満月の晩に変

ナティック〟という言葉があることからも、

わけ満月 (Full Moon) に関しては、ヨーロッパ圏の文化で ´ル

そんな月の中でも新月と満月は古より神聖視され、

とり

行事として、庶民に広まったと言われています 一種の喜びを人々と分かち合いながらお月見をす |穂祭」へと変わっていきました。江戸 れています。ちなみにその起源は 「貴族の遊び」として日本に入り、 たことから、 中秋の名月は また収穫され

> のとしてあまり評判が宜しくないようですが ば」は有名です。 世とぞ思ふ 望月の この句は道長の驕りを示すも 欠けたることも なしと思へ

のであると言えましょう。 ここで使われた満月を待ち望む気持ちを表しているかのよう な "望月" という言葉は、情緒豊かなイメージを喚起するも

多いようです らして見せる!」と叫び、許しを請う彼女を下駄を履いた足 であった女性が資産家と結婚することになるのを知って激高 色夜叉』(1898) にて、 月は人をして衝動的・刹那的な行動に駆り立てるようです。 なフレーズを残しています。本書で主人公の間貫一は、許嫁 で蹴ったあと、 ところで、明治の文豪の尾崎紅葉は、その未完の著作 満月の夜に「来年の今月今夜、僕の涙で必ずこの月を曇 統計的にも満月の夜には異常な事件が起こるケースが 行方をくらましてしまいます。 満月の精神作用を示唆する有名 なるほど、 金 満

回復と充実を図る機会とされてはいかがでしょうか で寛ぎながら秋空に浮かぶ満月を愛でつつ、 儀なくされている現状は、自身の内面と深く向き合うための 機会ももたらしてくれます。とすると、コロナ禍で自粛を余 良い機会。2021年の中秋の名月である9月21日は、 このように満月は人間心理に影響を及ぼす一方で、 より一層、 自宅 心の

(JMS主幹·野村元久)

も多いですし、満月についても「望月」

る方が多いのではないでしょうか。

月に纏わるやまと言葉

の別称を用いて平

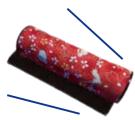
しく風情あふれる抒情的なイメージを月に対して持ってい

本人は月に住むウサギやかぐや姫、

朧月夜のように奥ゆ

なできごとが起きるという伝承があります。もっとも、

もあるようです。日本でも女性が満月の晩に出歩くと不吉



安時代に藤原道長が詠んだ句

「この世をば

わが